

浦安の子どもたちとともに

べかぶね

令和3年3月
第320号



人が輝き運動するまち・浦安

浦安市

浦安市青少年センター 浦安市青少年補導員連絡協議会
〒279-8501 浦安市猫実1-1-1 TEL(351)1111



昭和57年12月1日創刊号の表紙より
(長さ約3m、幅約1m、船板の厚み約2cm)

令和元年度浦安市青少年健全育成標語コンクール

最優秀賞 よい未来 今の自分に できること 高洲小学校 6年

最優秀賞 顔あげて 目を見て話そう 誰とでも 美浜中学校 2年



「べかぶね」の名前の由来

べかぶねとは、漁船の中でも一番小さな船で海苔取り舟のことを言う。青少年が社会という荒波を
もがきながら必死に生きていく姿が、べかぶねに似ていることから広報紙の名前となりました。

ご挨拶

地域における子どもの見守りについて

浦安市青少年補導員連絡協議会 会長 森本 健二

補導員の皆さんには、日頃より補導員活動にご協力して頂き、ありがとうございます。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染予防の関係で補導員活動が大きく制限され、理事や役員
の選出をメールで行い、定期総会の開催は書面での対応となりました。また、パトロール活動も昨
年春に一時中止した後、学校の授業開始に合わせて再開していましたが、2度目の緊急事態宣言の
発出により再び中止になるなど、コロナ禍の影響はいつ収束するのかわからない状況です。

この状況だからこそ、感染リスクが小さい地区パトロールだけでも活動を続けて、直接声をかけ
ることで地域の大人がきちんと見守っているという安心感を子どもたちに伝え続けることが必要で
はないかと考えています。

「継続は力なり」ではないですが、地区パトロールを続けていくことで、地域を点検し、地域の小
さな変化を見逃さずに子ども達を見守っていくこと、子どもだけでなく大人にも笑顔で声をかけ、
補導員活動を理解してもらい輪を広げていくことも大切だと思っていますので、これからもコロナ
に負けず、パトロール活動をよろしくお願いします。

なお、今年の9月25日には浦安市文化会館で千葉県補導員大会が開催されます。17市の持ちま
わりで開かれる大会です、当日は会場設営・駐車場の案内・受付・誘導などで大勢の補導員の協力
が必要になりますので、ご協力をよろしくお願いします。

..

..

.

.

「節目の時期を迎えて」

～ふり返り、見つめ直す瞬間～

浦安市青少年センター運営協議会 会長

富岡中学校 校長 藤居 宏幸

中学校の教員をやっていると、自分の中学生時代を思い出すことがよくあります。

子どもから大人になるという精神的に不安定な時期。自分もご多分にもれず、親や先生といった
大人に反抗し、「信じられるのは友達だけ」、という状況でした。勉強は嫌いで逃げていましたが、
友達がいたから、とにかく中学校は楽しかった。コロナ禍でありながら、何事にもまじめに努力す
る今の富中生を見ていると、そんな自分が恥ずかしくなります。

3年生になっても、大人の言うことは聞かず、遊んでばかり。現実逃避していたので、当然のご
とく受験も失敗。適当に「すべり止め」感覚で決めた、高校に行くしかありませんでした。絶望感
から立ち直れないまま、中学を卒業し、行きたくない高校へ。

高校入学後最初の1ヶ月は、学校を辞めることばかり考えていました。辞めてどうするという答
えも出ぬうちに何とか「やりがい」を見つけることができました。その時、今まで自分は、母親を
はじめとして大変多くの人に支えられてここまで来たのだと気づかされました。

字のごとく、いつも誰かに支えられて「人」は生きていくのですね。

教育長の部屋

「子どもたちを取り巻く環境と課題」

～これからの補導活動に期待すること～

子どもたち（満10歳から17歳）のインターネットの利用率は、「平成30年度青少年のインターネット利用環境実態調査報告書」（内閣府）によりますと、すでに93.2%を超えていると報告されています。スマートフォンの所有率も50%を超え、LINEをはじめとするSNSの利用率は60%を超えています。このように子どもたちの間でもインターネットというものが当たり前の、これまでにないコミュニケーションツールとなっています。

昨今の報道では、スーパーやコンビニの食材にいたずらをしたり、本来、立ち入り禁止になっている場所や撮影禁止になっている場所の画像や動画を投稿してしまったり、その結果、SNSが「炎上」し、警察が踏み込む事態になってしまうという事案もありました。また、SNSのやり取りで子ども同士のトラブルやいじめに発展したり、好奇心や疑心暗鬼が薄れているせいか面識のない人に会いに出かけ、命まで落とすという痛ましい事件もありました。

このような状況の中で、令和2年の7月から浦安市でも「学校ネットパトロール」を開始しました。

学校ネットパトロールとは、学校非公式サイトやSNS等への問題のある書き込みや画像について、早期発見・早期対応により、問題行動等の未然防止を図り、インターネットによるいじめや犯罪被害等から児童・生徒を守る取り組みです。

現時点（令和3年1月末）では、特に問題のある投稿は見つかってはいませんが、今後も問題のある書き込みがないか危機感を持って注視していきたい事業と捉え、推進していきたいと考えています。

また、インターネット上での書き込みや画像・動画の投稿は、一度拡散してしまうと“デジタルタトゥー”という形で一生インターネット上に残ってしまうケースが少なくありません。そうならないように、普段からご家庭でもインターネットの使い方について子どもたちと話し合ったり、ご家庭内でのルールを決めたりするようにお願いしているところです。

この4月から進学・進級し中学校、高校に進む子もいます。新しい環境になると行動範囲や交友関係が広がり、よりインターネット、SNSに触れる機会が多くなります。子どもたちも自らの投稿が、“誰に見られているかわからない”という意識をもって、インターネットを適正に活用するように、メディアリテラシーにおける問題も喫緊の課題として捉えています。

結びに、地域におけるみまもり隊（補導員）の皆様による「愛のひと声」運動も、「街頭パトロール」と並行して、未来を創造する子どもたちを、地域ぐるみで、今後も支える活動として重要な事業であると認識しておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



教育長 鈴木 忠吉

ブロック会議

コロナに負けるな!! 各ブロックのうごき

令和2年6月26日（金）、於：浦安市文化会館3階各会議室

今年は、コロナ禍の影響を受け、3密を避け、換気に注意を払い、時間も短縮して開催されました。今回は2年に一度の委嘱状の交付もあり、教員補導員の先生方の参加も多く、ブロックごとに理事を中心に、自己紹介から、学校現場、地域まもり隊（補導員）等の情報交換や街頭パトロール方針などについての意見交換が行われました。



浦安中ブロック

私どもは、17名で活動をしています。

担当地域は、当代島・北栄一丁目・猫実三丁目から五丁目と海楽です。毎月第一・第三木曜日の午後七時から中央公民館に集合して行います。

今年度は、先生やお勤め帰りに来てくれる人たちの参加があり、二班に分かれてパトロールすることが多かったです。浦安駅周辺は、人通りが多いのですが、他の場所はいつも静かな夜でした。時間的に夕食どきなのか子どもの姿はほとんど見かけませんでした。

今年度はコロナ禍で思うようにパトロールが出来ずに終わろうとしていますが、来年度は皆が安心してパトロールできる日がくることを願っています。

堀江中ブロック

堀江中ブロックは、今年度から5名の新しいメンバーが加わり、男性11名、女性3名の合計14名で構成されています。地区パトロールは、月2回の火曜日に堀江公民館に集合し、19時からパトロールを行っています。今年度は新型コロナウイルスによる影響で、通常のパトロール活動、行事等が中止となることも多くありましたが、緊急事態宣言を受けパトロールが自粛されて、その後6月からパトロールが再開されました。約2ヶ月半ぶりのパトロールでしたが、7人の参加で舞浜方面、堀江方面の2班に分かれ、7月から新しいメンバーと一緒にリメイクしたガーゼマスクを着け、「こんばんは」と声をかけながらパトロールを行いました。自転車の無灯火が多く見られ、二人乗り、自転車スマホ運転の方もいました。これからもコロナ対策をしっかり行い、「愛のひと声」をかけながらパトロールを行っていきたいと思います。コロナウイルスが早く終息することを願います。





見明川中ブロック

見明川中学校ブロックは、住宅街の静かな環境です。

大・小公園が多く、パトロールは、主にそれを中心に子ども達の安心安全をチェックしながら行っています。最近は特にコロナ禍で子ども達の姿は、ほとんど見られず寂しい限りです。

パトロールの時間帯は下校時間以降に設定し、月2回月曜日と水曜日にしています。

当ブロックは先生を除いては、女性ばかりのメンバーだったのですが、今年度は男性の補導員さんが参加されたので、心強いです。

登下校の児童・生徒たちがマスクをかけて静かに歩いている姿に見慣れてしまっていますが、早くコロナが終息して日常を取り戻し、元気な姿が見られるようになることを祈るばかりです。

入船中・高洲中ブロック

マスクを着ける事が常識となった昨今。2度の緊急事態宣言を受け、パトロールが余り出来ませんでした。数少ないパトロールでしたが、補導員も勿論マスク着用でお互いに表情が読み取れない、言葉が聞き取りにくい中、声かけをしました。

新浦安駅周辺の人通りは若干少なく感じましたが、余り変化は無いような感じで、時間帯によっては通勤・通学の人足早に歩いていました。

コロナ禍に一年生になったお子さんが近所にいます。小学校入学を機に引っ越しされて来たご一家です。入学式は延期になったりなかなか登校出来なかったり、新しい環境の中お友達も出来ず、ご両親もとてもご不安だった事でしょう。

引っ越しされてこられた当初は、お母さんに言われて小さな声で「こんにちは」と言う感じでしたが、今では大きな声で元気に挨拶！お友達も沢山出来た様で、マスクを着けて元気に遊ぶ姿に和まされます。

一日も早く、マスクをしなくて過ごせる日が来るよう、今は色々とお我慢しましょう。



高洲地区パトロールの様子



富岡中ブロック

富岡ブロックは新メンバーも加わり、子ども達の安全で安心な学校生活のため、コロナ禍でも負けない心で一致団結し、継続的なパトロールを実施中です。

10月、富岡中学校では体育祭の代替大会が行われ、保護者として参観した補導員メンバーもいました。1年生にとっては、初めての大きな学校行事でした。コロナ禍で、多くの行事が中止や延期を余儀なくされる中、安全に配慮した開催に向け、学校では準備を進めていただきました。子ども達も、自分たちが出来ることを考え、前向きに取り組んできました。

放課後、日の暮れ始めた公園でラップ芯をバトンに見立ててリレーの練習をする子ども達の姿がありました。帰宅を促したい気持ちを抑えて「あと少しだけ」と見守って下さった地域の方もいらっしゃったのではないのでしょうか？

おかげさまで当日のリレーや大縄では、クラス一丸となって挑むことが出来ました。

ソーシャルディスタンスを保って円陣を組み、マスク越しに声を掛け合いながら絆を強める様子に、見ているほうも胸が熱くなりました。地域と学校との支え合いがあって、子ども達の成長が見守られていることに感謝の思いでいっぱいです。



美浜中ブロック

11月の夕暮れ時、美浜公園で男子中学生3人が遊んでいました。辺りは暗く17時を過ぎていました。美浜中学校の先生も同行されていて、顔見知りの生徒さんの様で話も弾み、素直に応じる姿勢に好感を持ち、ほっこりした声かけとなりました。感染症の影響で異例の事柄が多い中でのパトロールですが、補導員の活動により有志の方々との情報交換をしたり、地域の子供達と関わる事ができ、貴重な経験をさせていただいています。新しいスタイルの時代も地域との繋がりを大切に「愛のひと声」をかけ続けていこうと思います。

昨年10月、美浜公民館がリニューアルオープンされました。以前は暗く死角があった自転車置き場が、明るく開放的になり、防犯効果も上がりました。学習スペースでは子ども達が集まって宿題をやる姿が見られました。

新しくなった美浜公民館をぜひご活用ください。

日の出中ブロック

緊急事態宣言解除後、地区パトロールも再開され子ども達の安全を見守りながら活動を続けられる日々感謝しつつ、気が付けば今年には既に半年以上が経過しております。

このような中、10/30(金)、毎年恒例の日の出中学校第27回合唱祭が、浦安市文化会館にて開催されました。

今年はコロナ禍において例年とは異なる形での開催となりましたが、ここに至るまでには先生方、生徒、保護者の方々の協力と努力があったと伺いました。

先ずは、文化会館までの移動方法を検討しました。密にならない形での送迎を検討したり、歌う際のマスクはどの様なものが良いか検討するため試作品を何度も作ったり、PTA有志によるマスク作りが始まりました。私も10枚程お手伝いさせていただきました。PTAの役員さんありがとうございました。

準備も万全に整えいよいよ当日、生徒達は手作りマスクを着用し、少々緊張した様子で、ホールいっぱいに元気な声を響かせました。マスクが邪魔で歌いづらくないかと心配されましたが、そんな心配は無用でした。特に3年生は最後の合唱祭という事もあり、どのクラスも圧巻のパフォーマンスで素晴らしかったです。

来年は、通常通りの合唱祭が行われる事を祈っております。



明海中ブロック 【明海地区防犯情報交流会】

12月5日、各学校やPTA、自治会、学校支援コーディネーター、明海オヤジの会など、日頃子ども達を見守る活動を行っているメンバーによる明海地区防犯情報交流会が行われました。

例年は夏と冬の年2回、合同パトロールを行っていますが、今年はコロナ禍で集まるのが難しいため「何かこの状況下でも出来ることを」と、パソコン画面を通して情報共有することにしたとのこと。

浦安市市民安全課長からの市内犯罪状況の報告、各団体の活動報告、より一層交流を深めていくための今後の体制づくりについてなど、様々な情報の提供と意見交換がなされました。

最後には、「地域の交流・連携を強化することが、防犯・防災の力を増し、ひいては子ども達の健全育成に資する」と各団体の安心安全に向けての強い思いを共有して閉会。

リアルな交流は難しい状況ですが、そんな中だからこそ生まれた新しい形での交流会。地域の力強さ、頼もしさを感じる取り組みでした。



青少年みまもり隊（補導員）コラム

お疲れ様です!!

- コロナ感染予防の学校休校のためゲームセンターを巡回。子ども達は予想より少ない。店舗は学校休校の趣旨をわきまえて注意してくれている。また18時以降は保護者同伴かどうか確認もしている。安心した。(3月)
- 明海小、明海南小と2か所に分かれてパトロール。明海の丘公園で中学生女子3人に声をかけるも登校時間は午後からとのこと。コンビニ、交番聞き取りでは問題ないとのこと。(6月)
- 舞浜公園外の歩道でバスケの練習をする親子に声かけ。ドリブル音が迷惑とならないよう宅地から離れている所を選んでいるとのこと。(8月)
- 自転車無灯火(大人)2人に声かけ。美浜公園17:30頃バスケで遊ぶ中学生に美浜中教員補導員が遅くならないようにと声かけ。(11月)

始業式・早朝パトロール

今年は、コロナの影響で短かった夏休み。2学期の始まりは、8月19日でした。

青少年センターもセンターのパトカー（青色回転灯装着車両）で始業式の早朝パトロールを実施しました。

子どもたちの元気な「おはようございます！」の声を聴くことができ一安心しました。



浦安市教育功労者表彰

11月27日（金）に、教育功労者表彰式が挙行されました。

「浦安市青少年補導員」として、永年に渡る青少年の非行防止及び健全育成活動にご尽力された功労により、2名の方が受賞されました。



大滝美佳氏

平成20年7月就任。
各種パトロールに積極的に活動。平成24年度青少年補導員連絡協議会理事に就任。平成28・29年度会計、平成30年度以降副会長として同会の運営に中心的な役割を果たされました。



大塚知久氏

平成6年7月就任。
令和2年5月31日退任。
今日まで26年余にわたり教員補導員として献身的に活動された。特に県下一斉合同パトロールでは、ボランティアの生徒を率いて積極的に参加していました。

ネットパトロール研修

令和2年7月21日（火）、於；日の出公民館大集会室

令和2年7月より青少年センターでは、「学校ネットパトロール」を開始しています。学校の先生方に、この事業内容を理解してもらうため、「令和2年度第2回小中学生指導主任会議兼第1回長欠対策主任会議」の際に、学校ネットパトロールの委託業者であるピットクルー株式会社による研修会を行いました。



ネットパトロール

学校非公式サイトやブログやSNSなどへの問題のある書き込みや画像について、早期発見・早期対応により、問題行動の未然防止を図るとともに、いじめや犯罪被害等から児童・生徒を守ることを目的に開始しています。

行事予定

令和3年4月7日（水）
始業式・早朝パトロール



千葉県補導(委)員大会開催決定！

令和3年9月25日（土）
浦安市文化会館にて

雑感

コロナ禍に青少年補導員として参加させていただき、予定より活動は少なくなりましたが、活動中に見かける子ども達の元気な姿、挨拶を返してくれる子ども達から、こちらが元気をもらうことができました。また広報誌作成の一部に関わることもでき、編集側の熱意も感じ、よい経験ができました。今年は昨年より良い年になることを願いつつ、引き続き子ども達が安心して生活を送れるよう補導員活動を行っていきたいと思います。(A.T)

